

新型「いのり星®」について

新型「いのり星®」は、パナソニックが部材提供した太陽光蓄電 LED の光の球です。

七夕の夜、人々の願いごとを託した光の球新型「いのり星®」5万個をいっせいに川面に放流し、大川を“天の川”にします。放流された新型「いのり星®」は川下で完全回収し再利用します。

再生可能エネルギー(太陽光)を利用することで、イベント時の発光使用電力をゼロにし、さらに完全回収することにより、環境負荷の少ないイベントが実現します。

新型「いのり星®」の仕組み

直径 8.5cm の新型「いのり星®」は、太陽光パネル「HIT」で電気を創り、充電式電池「EVOLTA」で蓄電し、省電力・長寿命の LED チップを使用して点灯する光の球です。川に着水すると同時に青く発光する仕組みになっています。

パナソニックが提唱する「エネルギー・マネジメント」の象徴としての新型「いのり星®」

パナソニックは、環境負荷の低減につながる「エネルギー・マネジメント」の考え方を推進しています。

「エネルギー・マネジメント」とは、「創エネ」、「蓄エネ」、「省エネ」を組み合わせ、CO2 排出量を削減し、環境負荷を低減しようという考え方です。

パナソニックは、「平成 OSAKA 天の川伝説」のイベント主旨に賛同し、太陽光パネル、充電式電池、LED チップを部材提供しております。これら技術の集積である新型「いのり星®」は、その小さな本体に「創エネ」、「蓄エネ」、「省エネ」の技術が終結しているものとも言えます。

創エネ 太陽光パネル

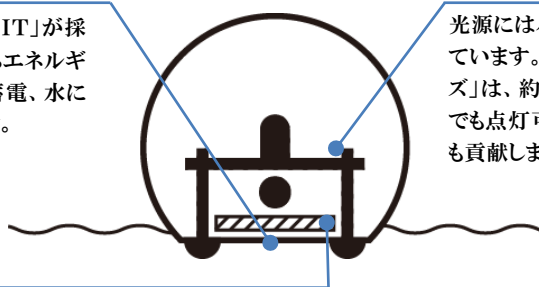
太陽光パネルはパナソニックの「HIT」が採用されています。HITで太陽光からエネルギーを創り、充電式電池エボルタに蓄電、水につけると通電してLEDが点灯します。

省エネ LEDチップ

光源にはパナソニックのLEDチップが採用されています。パナソニックのLED照明「エバーレズ」は、約40,000時間の長寿命を誇り、省電力でも点灯可能なため、省エネや環境への配慮にも貢献します。

蓄エネ 充電式電池

充電式電池はパナソニックの「エボルタ」が採用されています。エボルタは安全性・耐久性を保ちつつ、約1,800回もの充電を可能にしました。



「いのり星®」は株式会社ランドマーク・ジャパンにより特許取得され、商標登録されています。

＜本件に関する報道関係の方のお問い合わせ先(当日)＞

平成OSAKA天の川伝説運営委員会事務局 (山本)

TEL 06-6942-2006